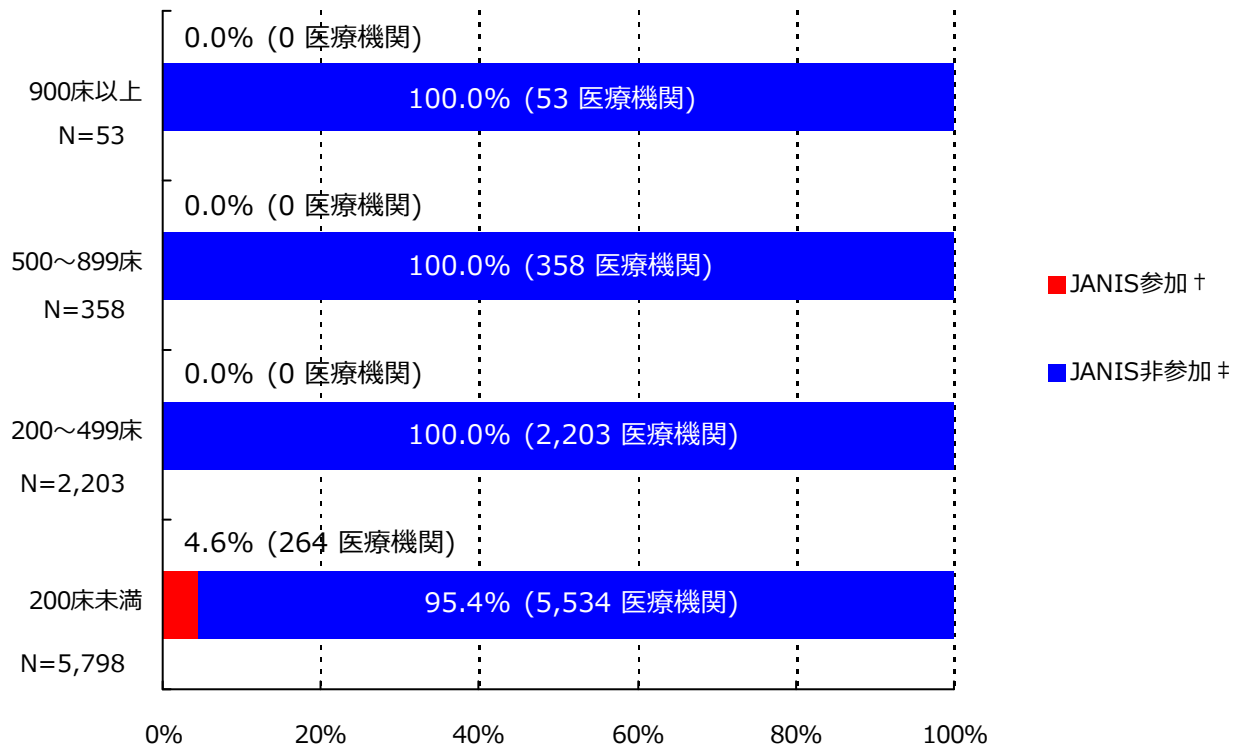


公開情報 2018年7月～9月 四半期報(集計対象医療機関・200床未満)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

1. データ提出医療機関*数(264医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2018年7月～9月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2017年 全国医療機関数¶) - (2018年7月～9月 集計対象医療機関数)

病床数	2017年 全国医療機関数¶	2018年7月～9月 集計対象医療機関数 (全国医療機関数に占める割合)
900床以上	53	0 (0%)
500～899床	358	0 (0%)
200～499床	2,203	0 (0%)
200床未満	5,798	264 (4.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	8,412	264 (3.1%)

¶2017年医療施設（動態）調査を参照した。

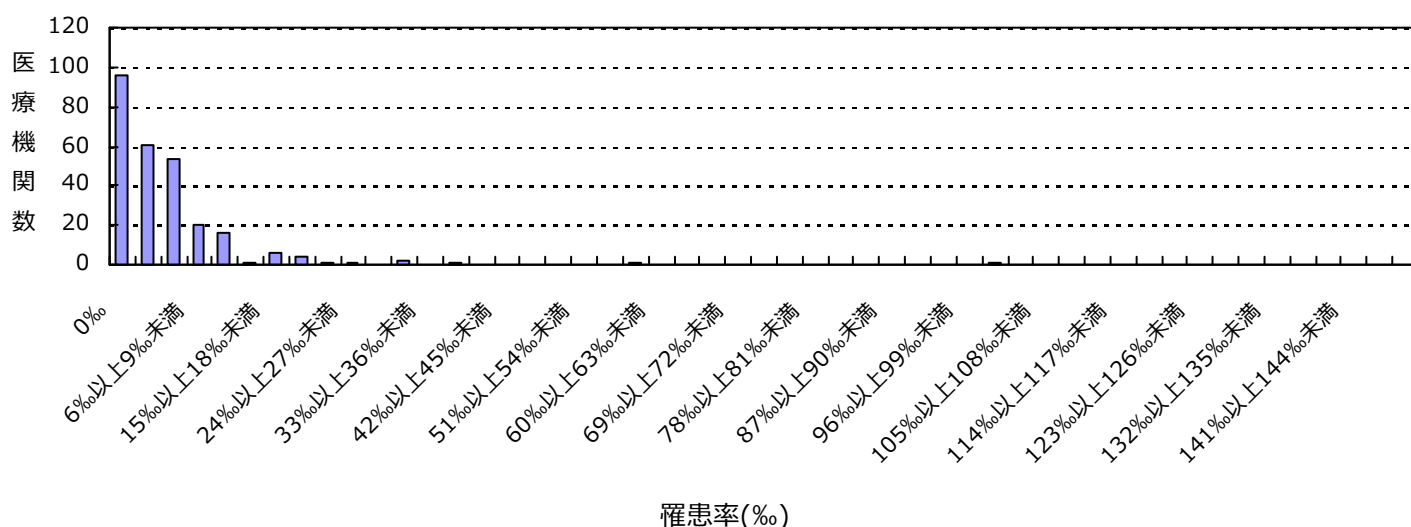
2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

罹患率

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	150,663	33	517	3.43%	0.00 2.00 100.00

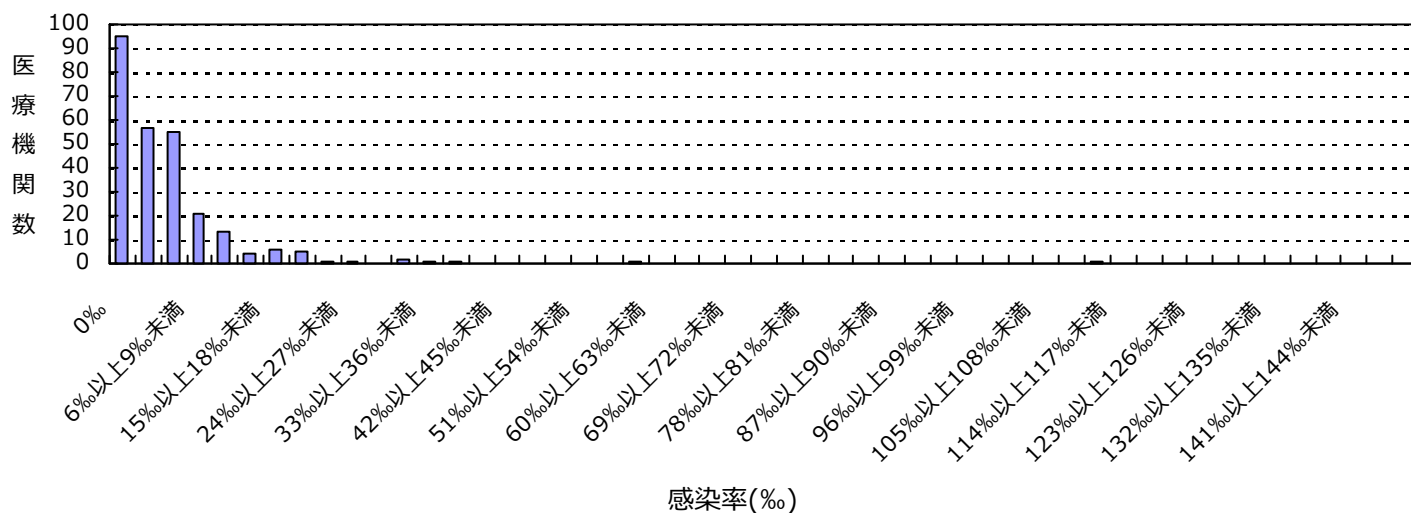
集計対象医療機関の罹患率 (N=264)



感染率

薬剤耐性菌名	総入院患者数	感染症患者数	全体の感染率	集計対象医療機関の感染率(%)の分布
MRSA	150,663	550	3.65%	0.00 2.11 111.11

集計対象医療機関の感染率 (N=264)



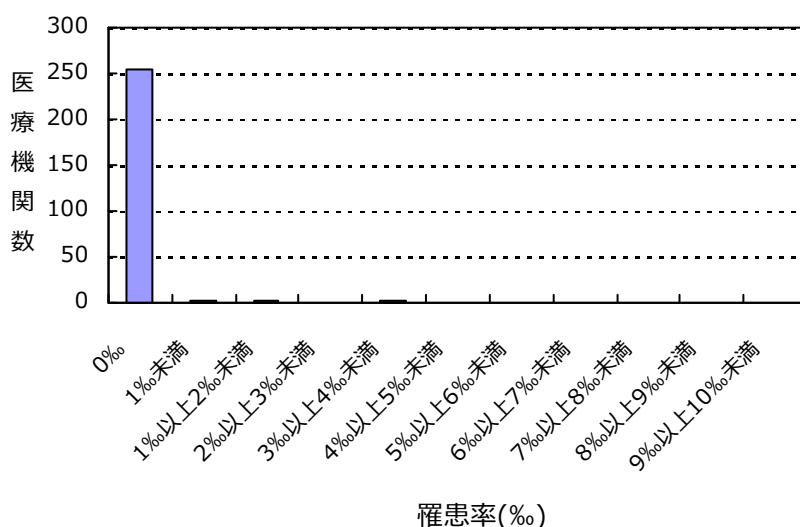
2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

罹患率

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	150,663	0	15	0.10%	0.00 8.00

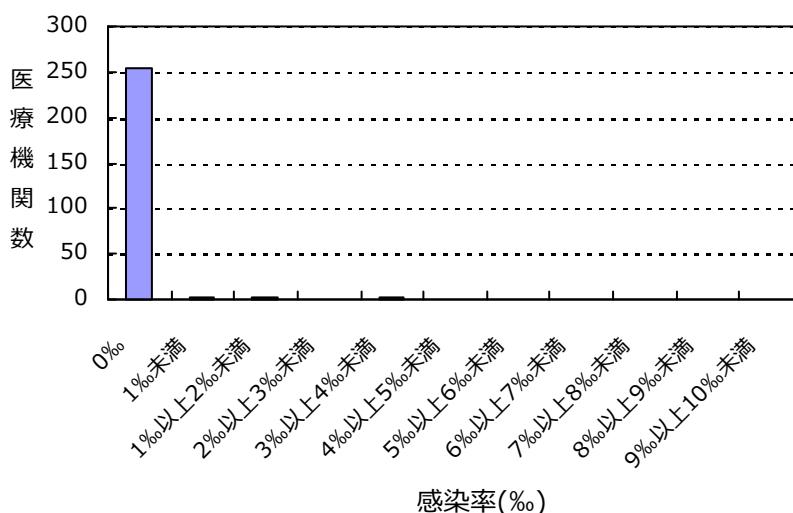
集計対象医療機関の罹患率 (N=264)



感染率

薬剤耐性菌名	総入院患者数	感染症患者数	全体の感染率	集計対象医療機関の感染率(%)の分布
PRSP	150,663	15	0.10%	0.00 8.00

集計対象医療機関の感染率 (N=264)



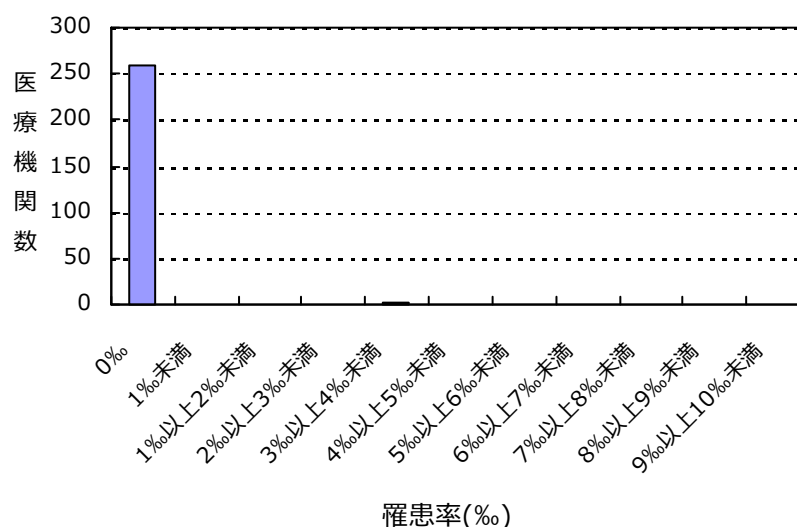
2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

罹患率

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	150,663	0	6	0.04%	0.00 4.57

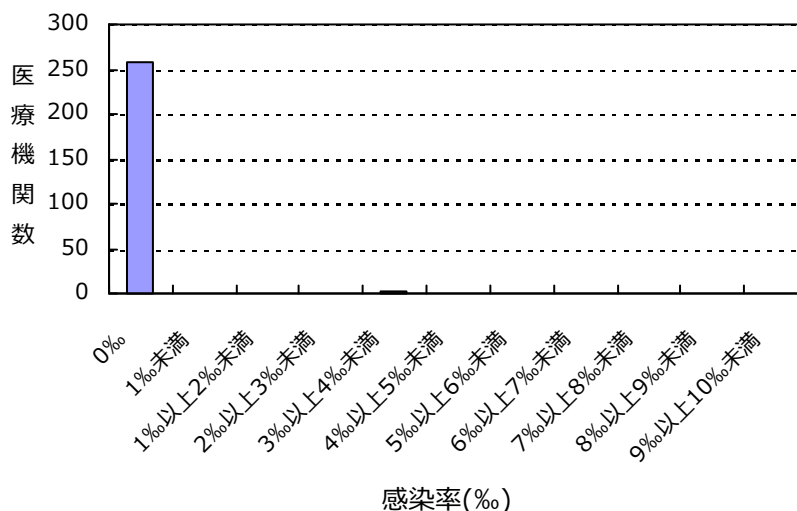
集計対象医療機関の罹患率 (N=264)



感染率

薬剤耐性菌名	総入院患者数	感染症患者数	全体の感染率	集計対象医療機関の感染率(%)の分布
MDRP	150,663	6	0.04%	0.00 4.57

集計対象医療機関の感染率 (N=264)



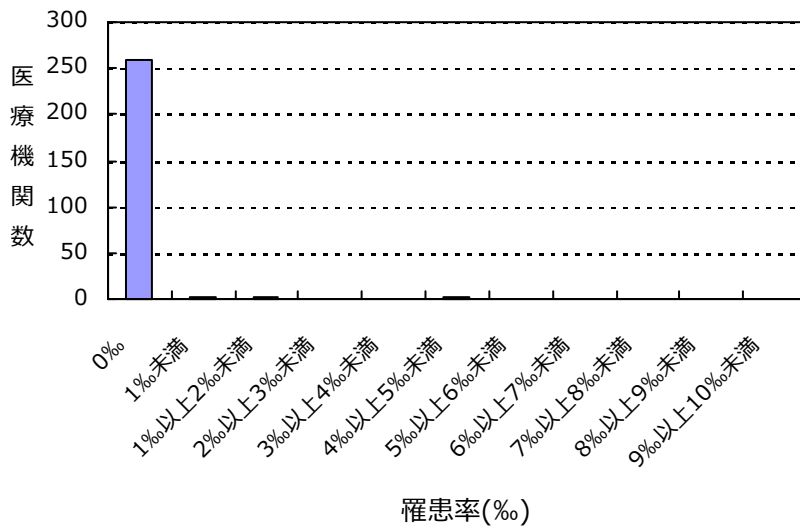
2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

罹患率

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
CRE	150,663	0	12	0.08%	0.00 4.50

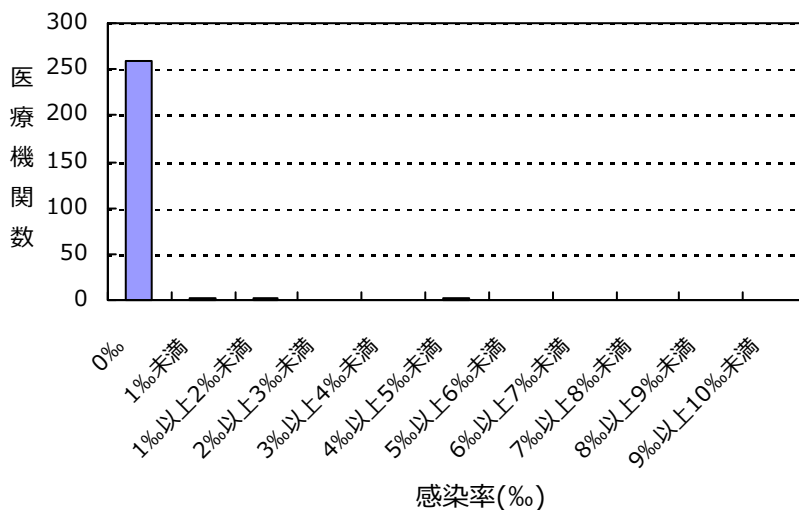
集計対象医療機関の罹患率 (N=264)



感染率

薬剤耐性菌名	総入院患者数	感染症患者数	全体の感染率	集計対象医療機関の感染率(%)の分布
CRE	150,663	12	0.08%	0.00 4.50

集計対象医療機関の感染率 (N=264)



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、感染症患者数、罹患率、感染率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

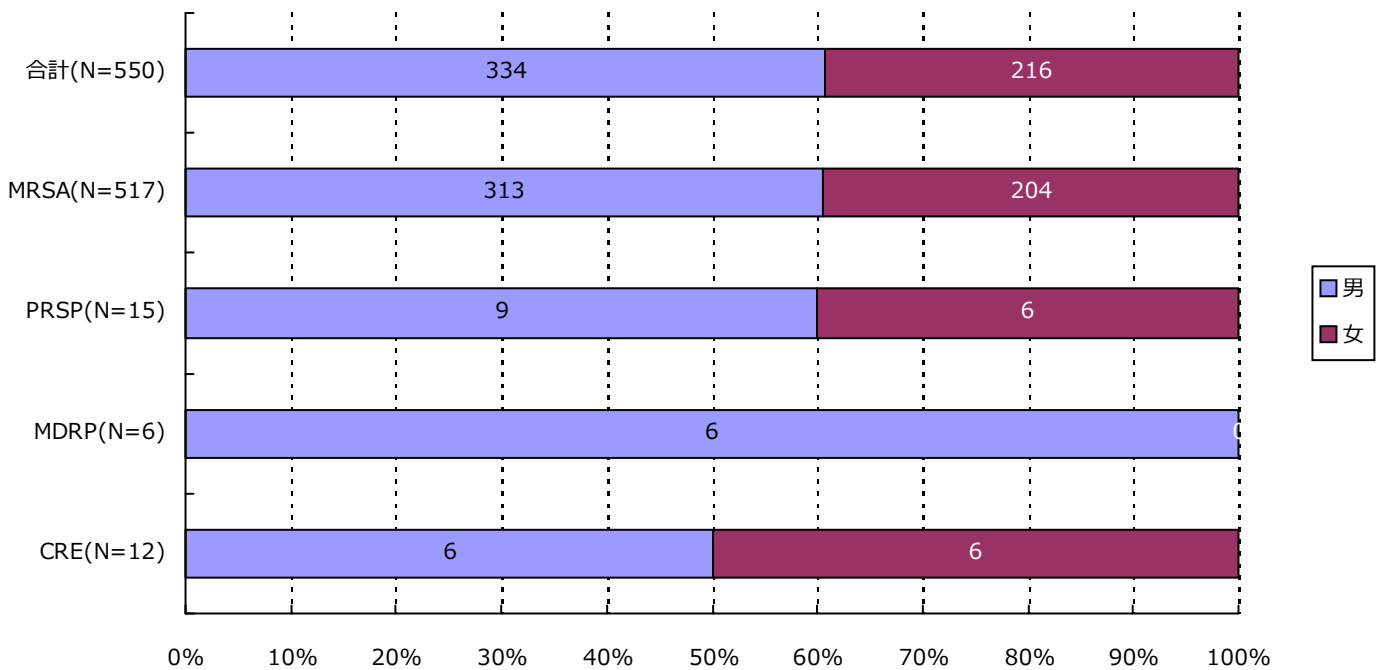
感染率 = (感染症患者数) ÷ (総入院患者数) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

全体の感染率 = (集計対象医療機関の感染症患者数合計) ÷ (集計対象医療機関の総入院患者数合計) × 1000

3. 耐性菌新規感染症・感染症患者の性別内訳

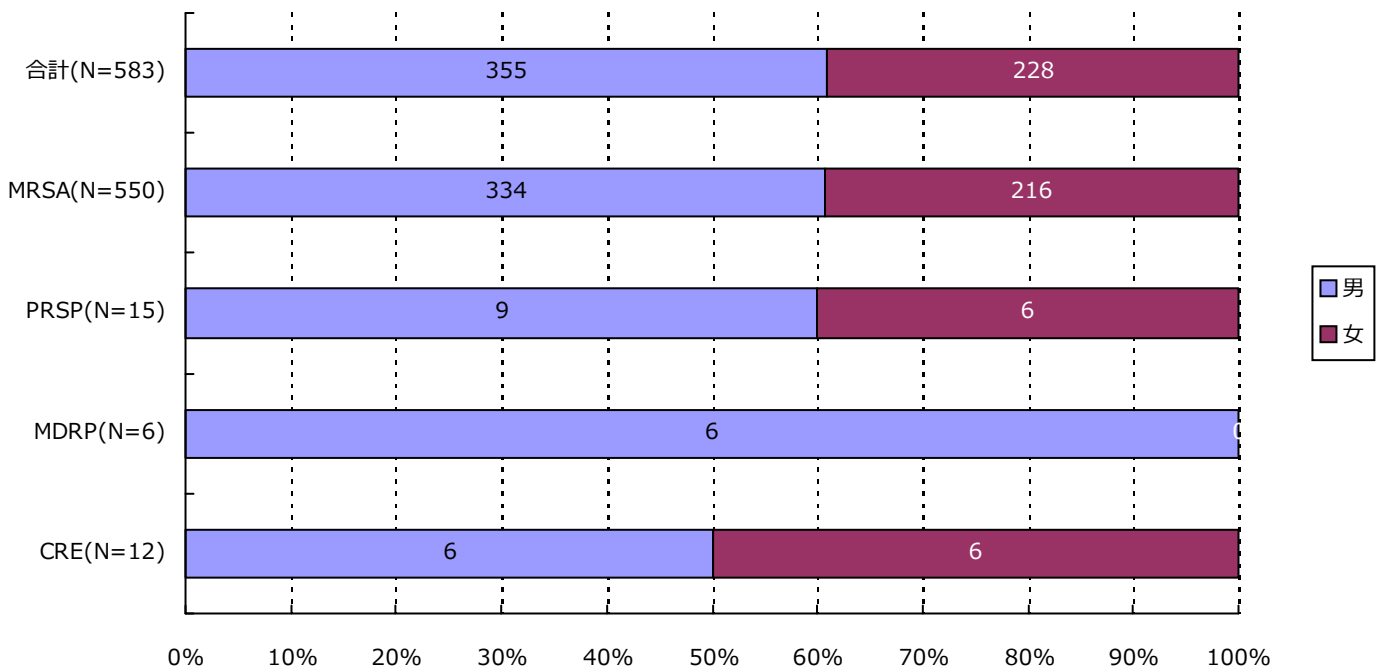
新規感染症患者



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	334 (60.7%)	313 (60.5%)	0 (-)	0 (-)	9 (60.0%)	6 (100.0%)	0 (-)	6 (50.0%)
女	216 (39.3%)	204 (39.5%)	0 (-)	0 (-)	6 (40.0%)	0 (-)	0 (-)	6 (50.0%)
合計	550	517	0	0	15	6	0	12

3. 耐性菌新規感染症・感染症患者の性別内訳

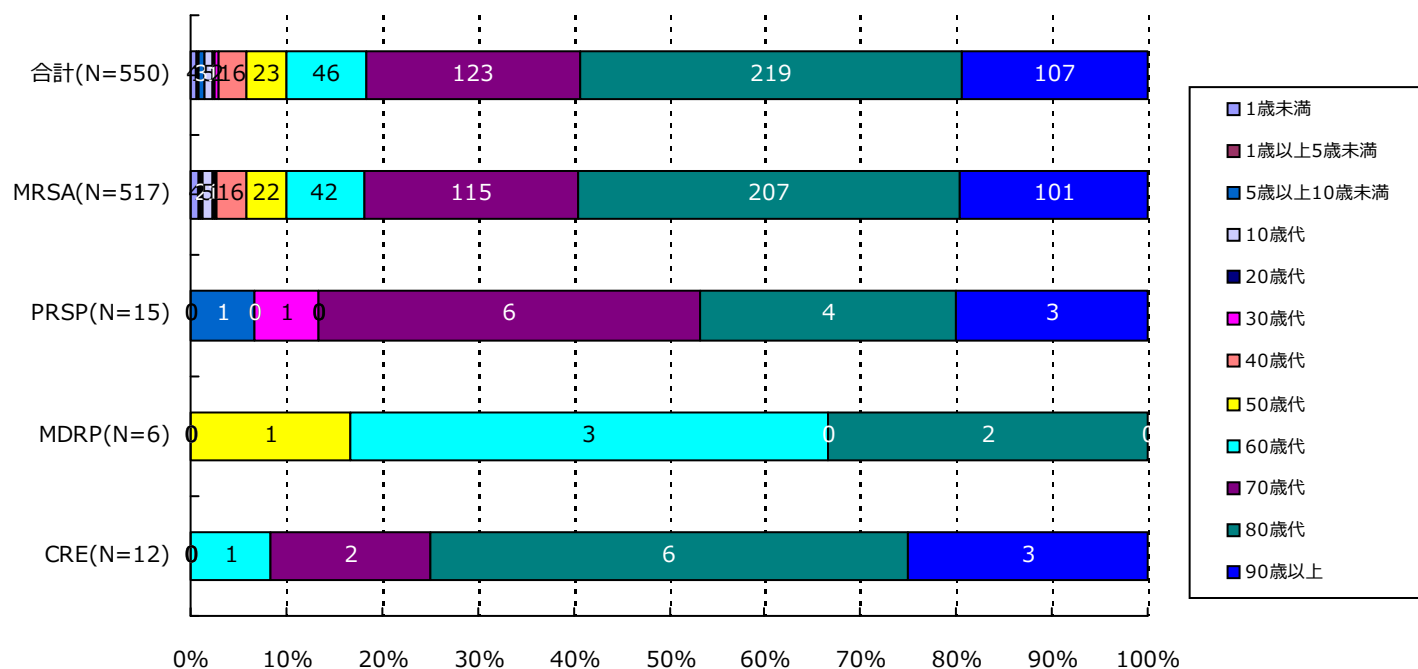
感染症患者



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	355 (60.9%)	334 (60.7%)	0 (-)	0 (-)	9 (60.0%)	6 (100.0%)	0 (-)	6 (50.0%)
女	228 (39.1%)	216 (39.3%)	0 (-)	0 (-)	6 (40.0%)	0 (-)	0 (-)	6 (50.0%)
合計	583	550	0	0	15	6	0	12

4. 耐性菌新規感染症・感染症患者の年齢別内訳

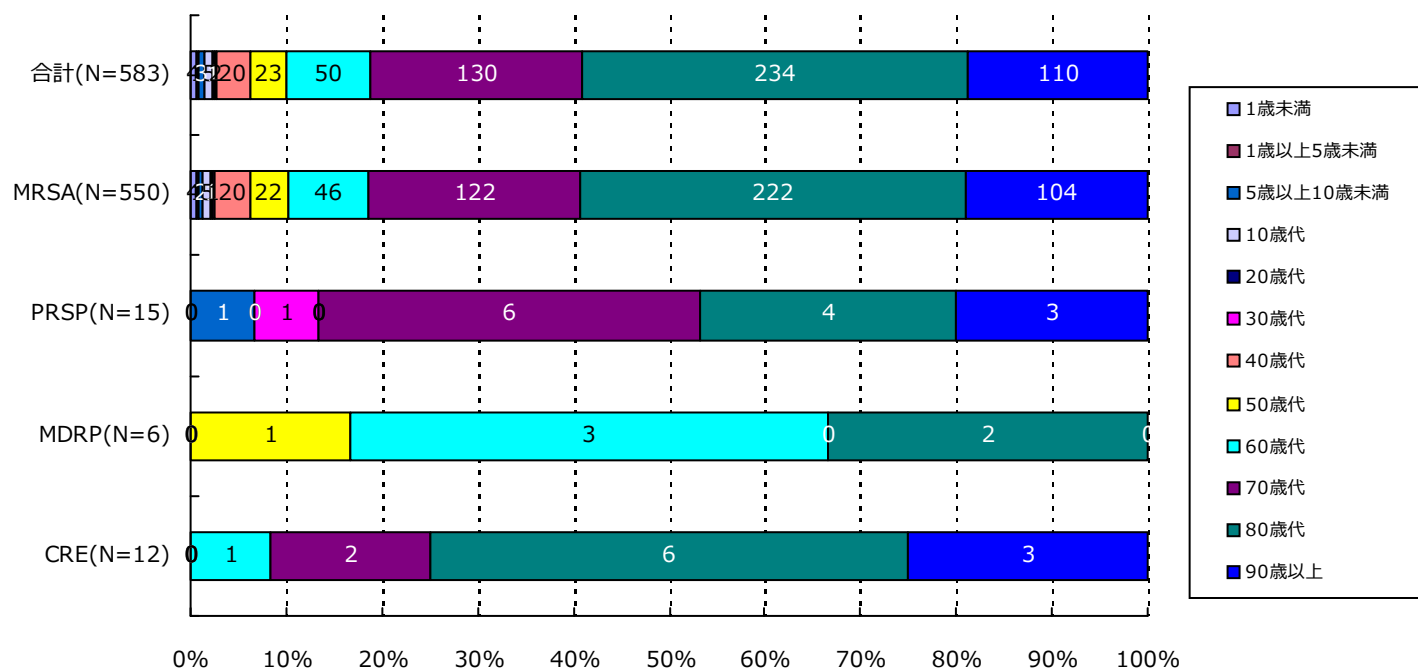
新規感染症患者



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4(0.7%)	4(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	3(0.5%)	2(0.4%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	5(0.9%)	5(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.4%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	16(2.9%)	16(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	23(4.2%)	22(4.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)
60歳代	46(8.4%)	42(8.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	1(8.3%)
70歳代	123(22.4%)	115(22.2%)	0(-)	0(-)	6(40.0%)	0(-)	0(-)	2(16.7%)
80歳代	219(39.8%)	207(40.0%)	0(-)	0(-)	4(26.7%)	2(33.3%)	0(-)	6(50.0%)
90歳以上	107(19.5%)	101(19.5%)	0(-)	0(-)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	3(25.0%)
合計	550	517	0	0	15	6	0	12

4. 耐性菌新規感染症・感染症患者の年齢別内訳

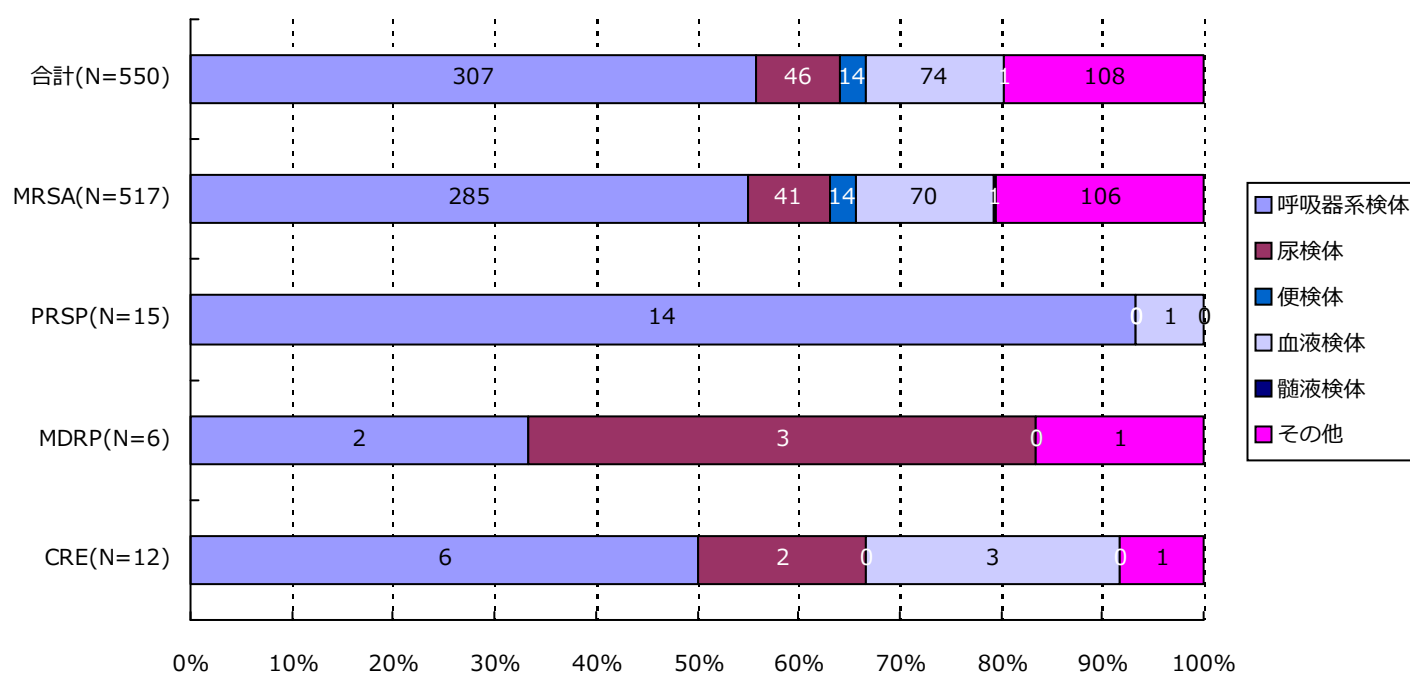
感染症患者



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4(0.7%)	4(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	3(0.5%)	2(0.4%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	5(0.9%)	5(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.3%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	20(3.4%)	20(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	23(3.9%)	22(4.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)
60歳代	50(8.6%)	46(8.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	1(8.3%)
70歳代	130(22.3%)	122(22.2%)	0(-)	0(-)	6(40.0%)	0(-)	0(-)	2(16.7%)
80歳代	234(40.1%)	222(40.4%)	0(-)	0(-)	4(26.7%)	2(33.3%)	0(-)	6(50.0%)
90歳以上	110(18.9%)	104(18.9%)	0(-)	0(-)	3(20.0%)	0(-)	0(-)	3(25.0%)
合計	583	550	0	0	15	6	0	12

5. 耐性菌新規感染症・感染症患者の検体*内訳

新規感染症患者

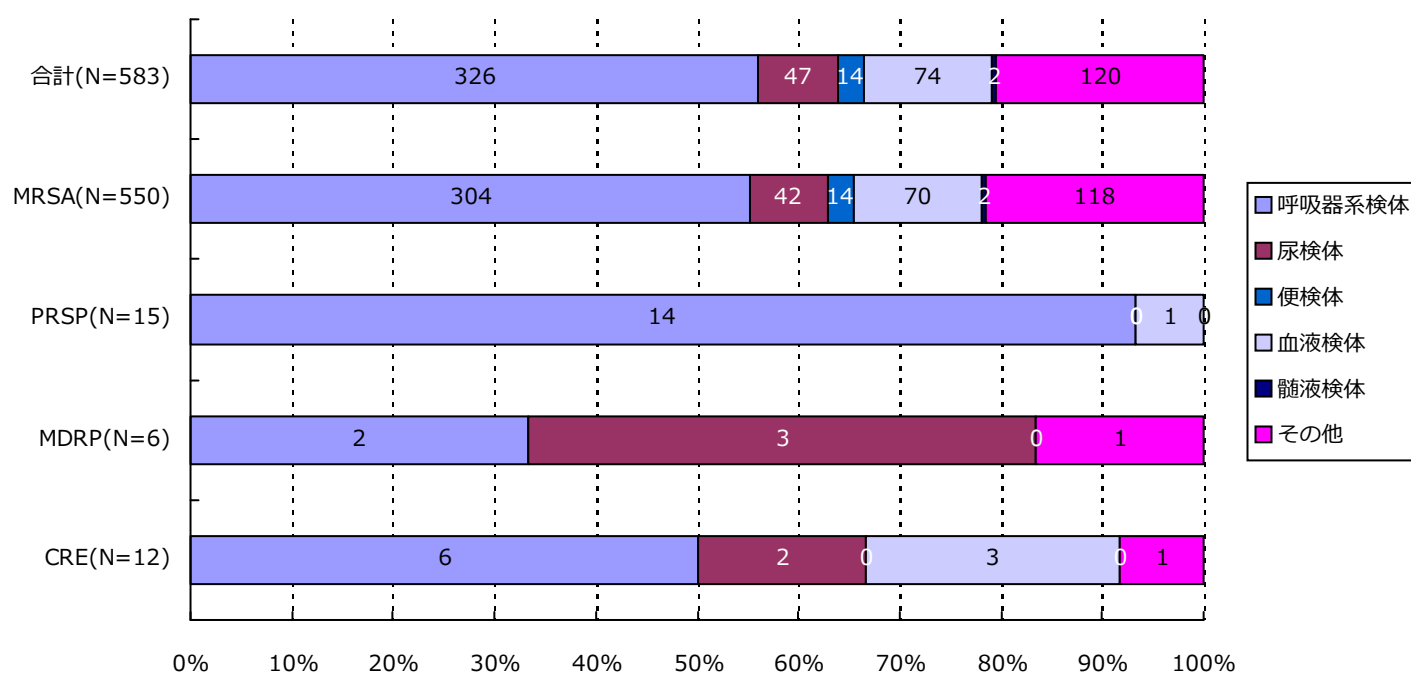


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	307(55.8%)	285(55.1%)	0(-)	0(-)	14(93.3%)	2(33.3%)	0(-)	6(50.0%)
尿検体	46(8.4%)	41(7.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	2(16.7%)
便検体	14(2.5%)	14(2.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	74(13.5%)	70(13.5%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	3(25.0%)
髄液検体	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	108(19.6%)	106(20.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	1(8.3%)
合計	550	517	0	0	15	6	0	12

*検体区分については巻末の資料1を参照

5. 耐性菌新規感染症・感染症患者の検体*内訳

感染症患者

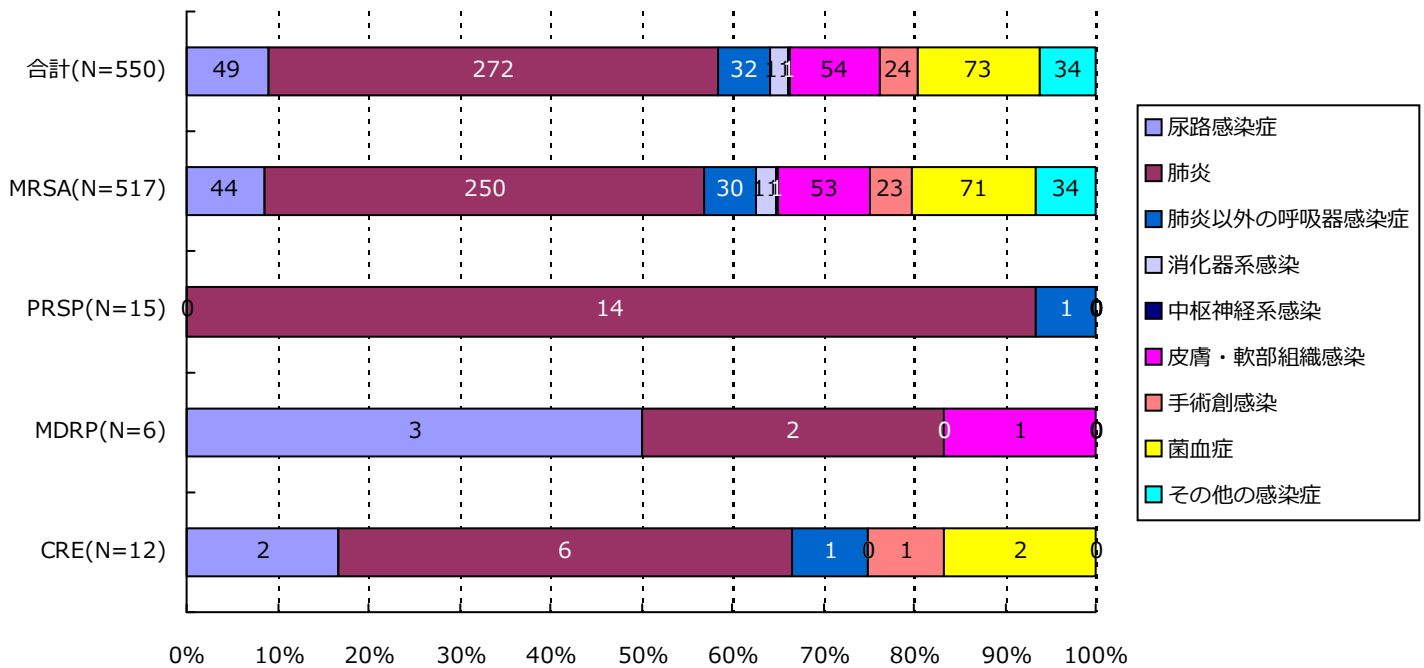


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	326(55.9%)	304(55.3%)	0(-)	0(-)	14(93.3%)	2(33.3%)	0(-)	6(50.0%)
尿検体	47(8.1%)	42(7.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	2(16.7%)
便検体	14(2.4%)	14(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	74(12.7%)	70(12.7%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	3(25.0%)
髄液検体	2(0.3%)	2(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	120(20.6%)	118(21.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	1(8.3%)
合計	583	550	0	0	15	6	0	12

*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症・感染症患者の感染症名別内訳

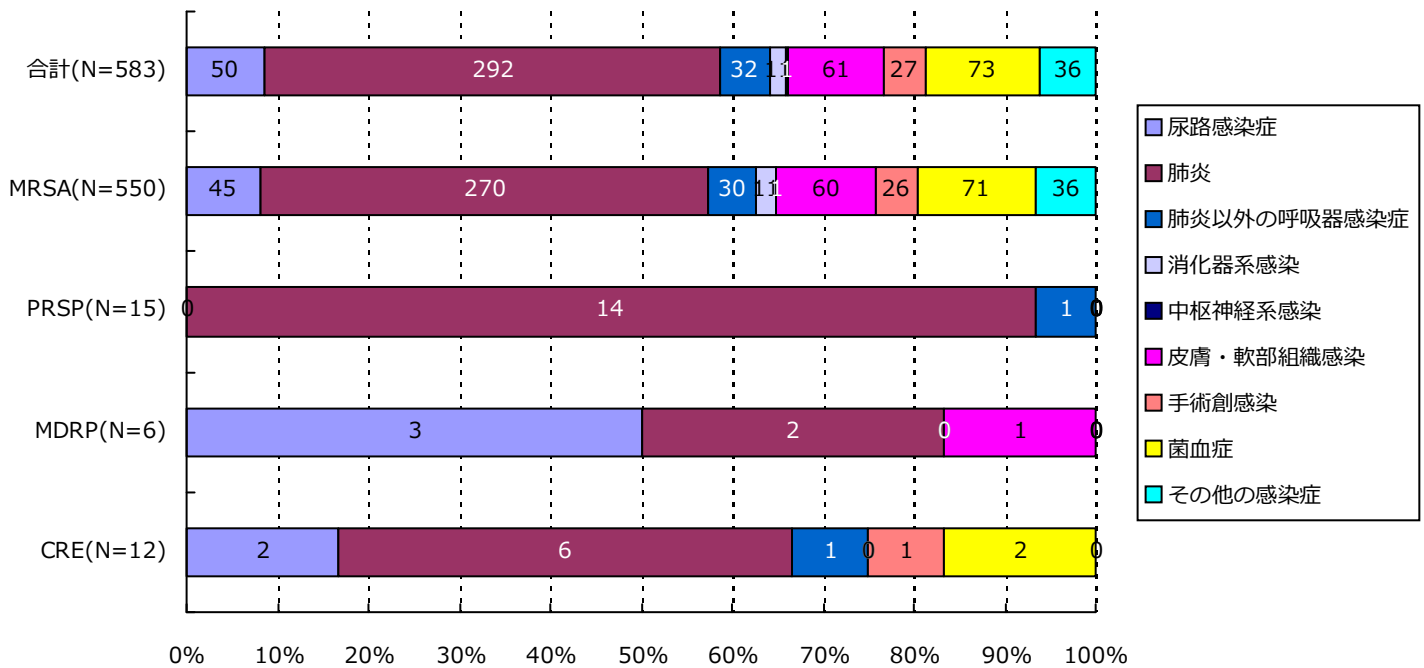
新規感染症患者



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	49(8.9%)	44(8.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	2(16.7%)
肺炎	272(49.5%)	250(48.4%)	0(-)	0(-)	14(93.3%)	2(33.3%)	0(-)	6(50.0%)
肺炎以外	32(5.8%)	30(5.8%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	1(8.3%)
消化器系	11(2.0%)	11(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	54(9.8%)	53(10.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)
手術創	24(4.4%)	23(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(8.3%)
菌血症	73(13.3%)	71(13.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)
その他	34(6.2%)	34(6.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	550	517	0	0	15	6	0	12

6. 耐性菌新規感染症・感染症患者の感染症名別内訳

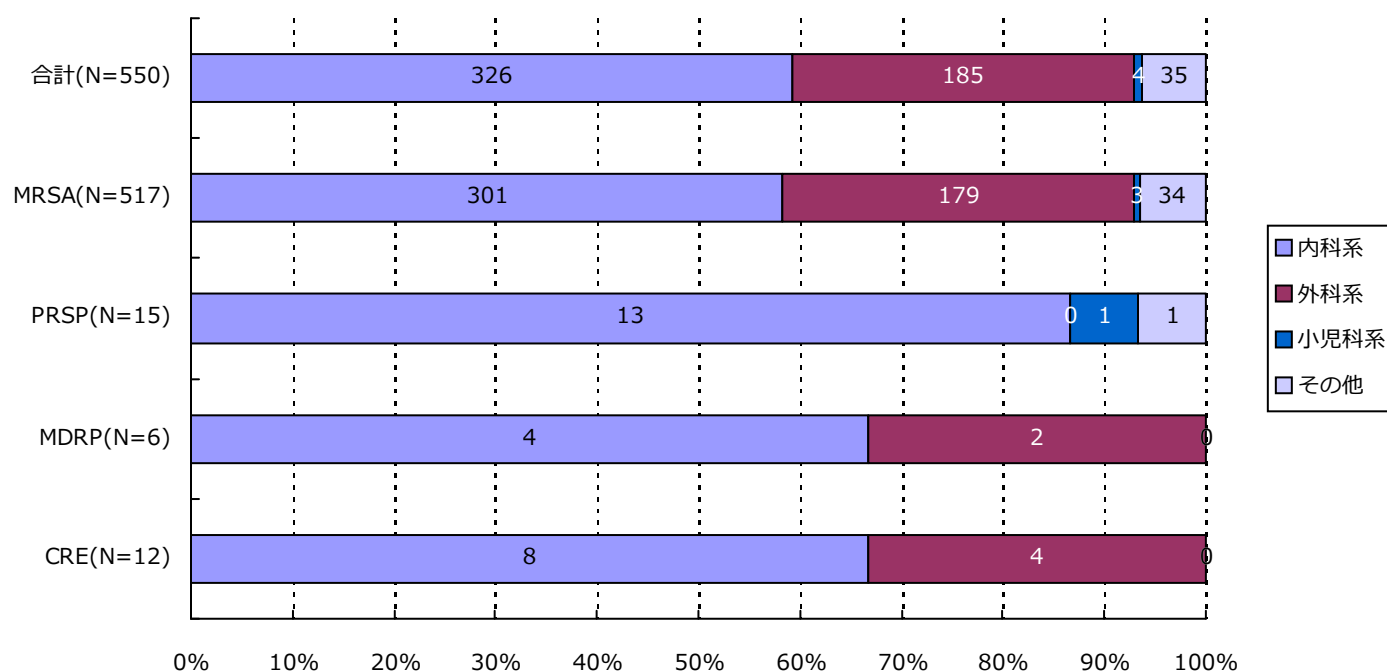
感染症患者



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	50(8.6%)	45(8.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(50.0%)	0(-)	2(16.7%)
肺炎	292(50.1%)	270(49.1%)	0(-)	0(-)	14(93.3%)	2(33.3%)	0(-)	6(50.0%)
肺炎以外	32(5.5%)	30(5.5%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	1(8.3%)
消化器系	11(1.9%)	11(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	61(10.5%)	60(10.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(16.7%)	0(-)	0(-)
手術創	27(4.6%)	26(4.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(8.3%)
菌血症	73(12.5%)	71(12.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(16.7%)
その他	36(6.2%)	36(6.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	583	550	0	0	15	6	0	12

7. 耐性菌新規感染症・感染症患者の診療科*別内訳

新規感染症患者

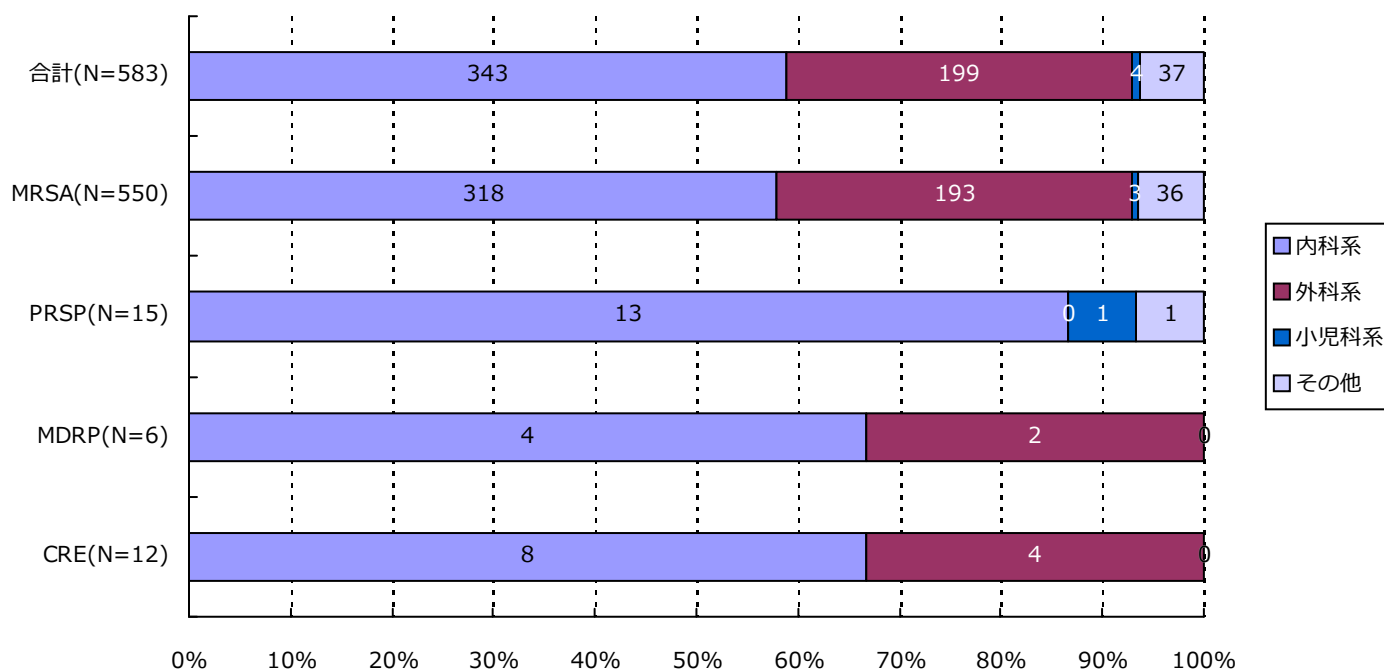


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	326(59.3%)	301(58.2%)	0(-)	0(-)	13(86.7%)	4(66.7%)	0(-)	8(66.7%)
外科系	185(33.6%)	179(34.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(33.3%)	0(-)	4(33.3%)
小児科系	4(0.7%)	3(0.6%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	35(6.4%)	34(6.6%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	550	517	0	0	15	6	0	12

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

7. 耐性菌新規感染症・感染症患者の診療科*別内訳

感染症患者



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	343(58.8%)	318(57.8%)	0(-)	0(-)	13(86.7%)	4(66.7%)	0(-)	8(66.7%)
外科系	199(34.1%)	193(35.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(33.3%)	0(-)	4(33.3%)
小児科系	4(0.7%)	3(0.5%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	37(6.3%)	36(6.5%)	0(-)	0(-)	1(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	583	550	0	0	15	6	0	12

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
	尿検体
採尿カテーテル	
留置カテーテル	
カテーテル尿	
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科	外科系	外科		
	循環器内科		消化器外科		
	神経内科		肛門科		
	呼吸器内科		肝胆脾外科		
	消化器内科		心血管外科		
	胃腸科		内分泌外科		
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科		
	腎臓内科		小児外科		
	糖尿病内科		小児循環器外科		
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科		
	膠原病内科		産婦人科		
	アレルギー内科		産科		
	リウマチ内科		婦人科		
	血液内科		整形外科		
	感染症内科		美容外科		
	老人内科		眼科		
	心療内科		耳鼻咽喉科		
	その他		性病科	気管食道科	泌尿器科
			神経科	泌尿器科	皮膚・泌尿器科
			精神科	皮膚科	皮膚科
放射線科		脳神経外科	脳神経外科		
総合診療部		形成外科	形成外科		
救急部		歯科口腔外科	歯科口腔外科		
救急・集中治療部		歯科	歯科		
集中治療部(ICU)		小児歯科	小児歯科		
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		矯正歯科	矯正歯科		
内視鏡科		口腔外科	口腔外科		
透析科		手術部	手術部		
理学療法・リハビリテーション科		移植・人工臓器科	移植・人工臓器科		
理学療法科		小児科系	小児科		
リハビリテーション科			新生児科		
麻酔科			新生児集中治療部(NICU)		
その他			周産期センター		

精度管理について

四半期報ではVRSAに対してのみ、報告医療機関にその真偽を確認し誤報告を除外している。

資料3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が "R" の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で "R")、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で "R" の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 [†] ・ VCM がディスク拡散法で "R" ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml [†]	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 [†] 、または MPIPC がディスク拡散法で "S 以外" の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml [†]	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で "S 以外" (例 \leq 23mm) [‡]
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml [†] AMK \geq 32 μ g/ml [†] NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm [†] AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が "R" (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 [†] 、またはディスク拡散法で "R" ・ フルオロキノロン系が "R" (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml [†] LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 [†] ・ IPM が耐性 [†] 、かつ CMZ が "R"	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml [†] IPM \geq 2 μ g/ml [†] かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

[†] 感染症発生动向調査の基準に準拠[‡] PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用